

BSI Training Academy

Building Information Modeling

BIM資格と研修



Your partner
in progress

BIM – デジタルテクノロジーへの適応

BIM (Building Information Modelling) とは、デジタルテクノロジーの進化により実現した共同作業の手法です。建築物のライフサイクルを通して、設計、納品、維持管理をより効率的に行うことを可能とします。

設計と建設の段階で綿密な計画を立てることにより、引き渡しの段階で包括的な情報を提供することができるため、より大きな効率性を実現することができます。

BIMのメリット

- プロセスの高速化・効率化
- 生産性の向上と納品の迅速化
- 不確実性の低減
- ステークホルダーエンゲージメントとコラボレーションの強化
- 管理されたWLC (ホールライフコスト) と環境データ
- 手直しコストの回避
- 安全性の向上
- 民間と公共の両方の事業契約を獲得する機会
- 現場での廃棄物の削減
- 運用段階での効率性と可視性の向上

資産のライフサイクル全体にとって、ISO規格の有用性

- 国境を越えた共同作業や競争入札の障壁の排除
- 国際市場での公平な競争を促す基礎の構築と貿易の促進
- プロジェクト間の一貫性を実現

国際規格は、プロジェクトや国境を越えてBIMを普及させ、業界全体に利益をもたらすために発行されました。ISO 19650-1、19650-2、19650-5に続き、19650-3は、BIMを使用する際の資産の引渡しと運用段階における情報の効果的な管理と安全性のための共同プロセスを定義しています。

これらの規格は、既存のBSおよびPAS規格に加えて、Building Information Modellingの様々な側面に対応しています。



BIM研修とBIM資格

建造物の所有者、設計コンサルタント、元請企業、下請企業、プロジェクトマネージャーなど、建設業界に携わる方であれば、デジタル環境を活用したコラボレーションがもたらす機会を理解することが非常に重要です。BSIでは、BIM研修とBIM資格をご用意しています。

BIM研修及びBIM資格の対象者

- 組織やサプライチェーンにBIMを導入する方法を知りたい方
- BIMの知識をチームや社内の教育に取り入れたい方
- 安全衛生やアセットマネジメントにおいて、より詳細な情報を要求されている方
- BSIのBIM資格を利用して、個々の専門性やビジネス上のBIMスキルと経験を証明することで、雇用主やサプライチェーンからの信頼の獲得や入札などでの事業の勝算を高めたい方

BSIは国際的な規格の策定に貢献しており、各産業分野の専門家である講師がトレーニングを行います。

政府やクライアントがベスト・プラクティスのために規格の採用に注目している中、事業者はBIMの研修プログラムやBIM資格を活用することで、常に最新の情報を得て業務に活用することができるため、事業の優位性を高めることが可能となります。



BIM資格とは

事業者が提供する人材に、適切な技術と能力があることを検証したという確信と安心感が求められる中、個々の人材が資格を持つことの重要性はますます高まっています。

BSI資格を取得するためには、一連の研修を受講し、各種試験に合格する必要があります。また、認証プロフェッショナル資格を取得するには、3年間の経験に加えて、実務経験の証拠を提出していただく必要があります。

BSI研修

BSIが提供する研修は、実務担当者から管理者までお客様のビジネスニーズを満たすように設計されています。

研修プログラムは、規格の要求事項の理解から監査チームの指揮管理まで、あらゆる段階の人々の学習をサポートするだけでなく、ビジネスのパフォーマンスを向上させるためのツールやテクニックも提供します。

BIM資格

(プラクティショナー/ プロフェッショナル)



組織として、現在から将来のBIMプロジェクトに対応できる適切な技術を保持していますか？ BIMが浸透していく中で、チームの力量とBIMプロジェクトの一貫性を確実にするには何が必要ですか？

BIM資格取得者には、クライアント、入札担当者、プロジェクトチームなどに、自身が有資格者であることを証明する「BSI資格マーク」が付与されます。BIM研修と試験を合格修了することで、受講内容に基づき、プラクティショナーまたはプロフェッショナルの資格を得ることができます。

BSIプロフェッショナル資格取得者は、3年間の関連する経験を実証することで認証プロフェッショナル資格を取得することもできます。認証プロフェッショナル資格取得者は、知識の実用化と業界における継続的な専門能力の開発を検証するプログラムを用いた3年周期で資格の維持を行う制度を活用して、常に最新の実践的な知識を有していることを証明することができます。

オンライン試験

各研修にはオンライン試験があります。研修受講後、30日以内にオンライン試験に合格した方にはBSI資格が付与されます。

BSI 資格の登録方法

BIM資格は、[こちらからご申請ください](#)。

BIM資格のメリット

各種BIM研修コース

BIM研修の詳細は[ウェブサイト](#)をご覧ください。

1 BIMプラクティショナー資格

- なぜBIMと情報管理が建築環境において重要なのか、その価値の十分な理解
- プロジェクト推進における情報管理および共同作業の原則に関する十分な知識
- 情報交換、データスキーマ、品質に関する詳細の理解



2 BIMプロフェッショナル資格

プラクティショナー資格に付随する知識に加え、次の知識とスキルを保有する資格です。

- 情報セキュリティと関連するガバナンスに関する完全な理解
- 健康と安全を改善する情報管理の原則を適用するスキル



3 BIM認証プロフェッショナル

プロフェッショナル資格に必要な知識に加えて、次のことが検証された資格です。

- 情報管理と共同作業の原則を実際に適用してきた業界での実績を保有すること



BIM資格の種類

BSIでは次のBIM資格をご用意しています。

- プロジェクトインフォメーション
- アセットインフォメーション

BIM プロジェクトインフォメーション資格

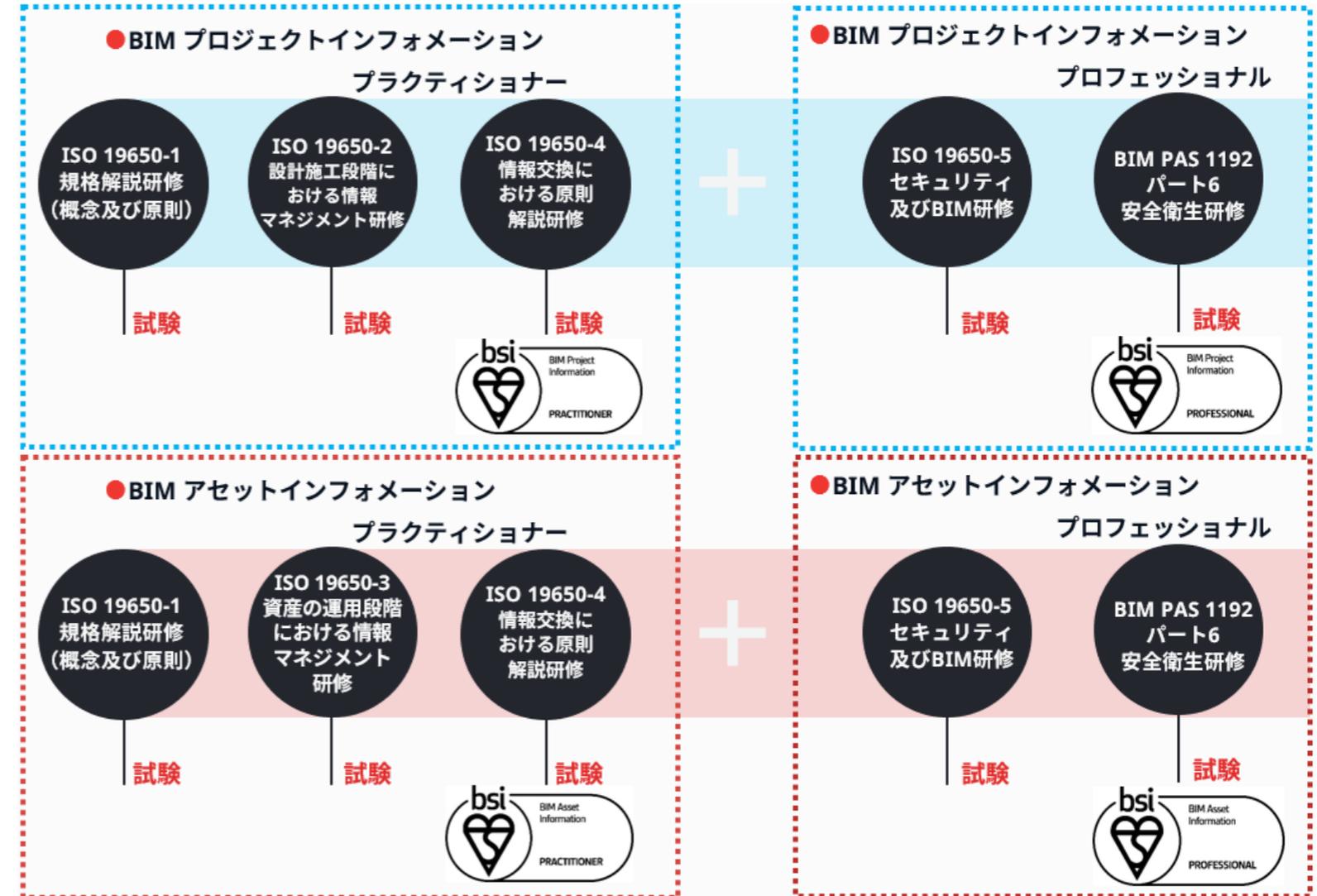
BIMは、プロジェクトマネージャーが各プロジェクトにおけるコミュニケーション、コーディネーション、コラボレーションを改善するために活用されています。

BIMプロジェクトインフォメーションの資格は、プロジェクトチームの運用効率を向上させることでBIMプロジェクトを推進するために役立ちます。

BIM アセットインフォメーション資格

大規模な不動産、土地、または各種資産を所有するオーナーは、運用と保守の目的で、資産が効果的かつコスト効率よく維持されていることに確信を得る必要があります。

BIMアセットインフォメーション資格により、自身のスキルや経験を証明することができます。



上記のBIM資格課程を合格修了した方は、[こちらから資格の登録申請をお願いいたします。](#)

BIM研修

特定の学習ニーズに合わせて、個別の研修を受講いただけます。BSIの研修はすべて“ライブ”オンラインで提供しており、各産業分野のエキスパートが講師として研修を提供します。

ご要望に応じて、集合研修も可能です。組織内の従業員に特化したインハウス研修も承っています。

BIM研修・BIM資格に関するお問い合わせ先：

BSI ジャパン教育事業部

Eメール：Japan.training@bsigroup.com

電話：045-414-3026

BIM プロジェクトインフォメーションプラクティショナー資格取得に必要な研修

- BIM ISO 19650 規格解説研修 (概念及び原則)
- BIM ISO 19650 パート2: 設計施工段階における情報マネジメント研修
- BIM ISO 19650 パート4: 情報交換における原則解説研修 (オンデマンド研修)

プラクティショナー資格取得済みの方が、プロフェッショナル資格取得に必要な研修

- BIM ISO 19650 パート5: セキュリティ及びBIM研修
- BIM BS 1192 パート6 安全衛生研修 (オンデマンド研修)

BIM アセットインフォメーションプラクティショナー資格取得に必要な研修

- BIM ISO 19650 規格解説研修 (概念及び原則)
- BIM ISO 19650 パート3: 資産の運用段階における情報マネジメント研修
- BIM ISO 19650 パート4: 情報交換における原則解説研修 (オンデマンド研修)



BSI お客様専用サイトのご案内

BSI 研修にお申込みいただくと、お客様専用サイトへのアクセスが可能となります。お客様専用サイトでは、今後予定されている研修や試験の情報、ならびに受講済みの研修の実績や受験結果などをご確認いただき、証明書などをご取得頂けます。ご自身で学習状況の進捗管理もいただける便利なサイトです。



研修受講前

講師が提供する研修 –集合研修または“ライブ”オンライン研修

お客様専用サイトより、研修の詳細、会場へのアクセスや“ライブ”オンライン研修へのアクセス方法などを確認することができます。

担当する講師名や、事前学習教材などもこちらからご確認頂くことが可能です。

受講前アンケートは、受講者が学習目的を達成する上で非常に重要です。研修がすべての参加者にとって適切なペースで行われるよう、予め受講者の知識を講師が把握すると共に、受講者自身も研修前後での習熟度の振り返りにアンケートの内容をご活用頂けます。

また、“ライブ”オンライン研修に参加する場合は、事前に接続確認を行い、音声やカメラが正常に動作することで、参加頂く研修から最大限の効果を得られるようにご準備ください。

オンデマンド研修

お客様専用サイトからオンデマンド動画にアクセスし、ご自身のペースで学習を進めることができます。

研修期間中

各研修で使用する教材は、事前に受講者の皆様へご案内致します。電子教材は、ダウンロードが可能となっており、資料はご自身で保管して研修終了後にご活用頂けます。

また、研修期間中は関連する規格の参考資料を提供します。

研修終了後

BSI 資格に関連する研修には試験が付帯します。研修終了後、試験へのアクセスが付与されると、お客様専用サイトより試験にアクセスできるようになります。試験の有効期間は30日間です。再試験は期間内に一度可能です。ご受験の際には、実施される場所が静かな環境で、安定したインターネット接続があることを確認してください。

合格修了

研修や試験に合格修了した場合は、お客様専用サイトより受講証明書や合格証明書などをご取得頂けます。

これらの証明書はSNSなどに掲示することが可能です。

BSI 資格マーク

BSI 資格に関連する、研修の受講と試験をすべて合格修了された方には、BSI 資格マークが付与されます。お客様専用サイトでは、資格取得までの進捗確認や、資格取得後の各種証明書や資格マークをご取得頂けます。



(※) 講師主導の研修

BSI で提供するBIM

BIM 規格

BIM 規格

BIM 規格のご購読

BIM 研修

BIM 資格

各種BIM研修を受講し、試験に合格修了頂いた方はBIMプロジェクトインフォメーション資格またはBIMアセットインフォメーション資格を取得することができます。実務経験を実証できる方はBIM認証プロフェッショナルを目指すことが可能です。

関連するBIM 研修

- BIM ISO 19650 規格解説研修(概念&原則)
- BIM ISO 19650-2 設計施工段階における情報マネジメント研修
- BIM ISO 19650 -3 資産の運用段階における情報マネジメント研修
- BIM ISO 19650-4 情報交換における原則解説研修
- BIM ISO 19650-5 セキュリティ及びBIM研修
- PAS 1192 パート6 安全衛生研修

ギャップ評価

規格で要求されている文書とのギャップを特定するためのオプションの評価。

BIM 認証

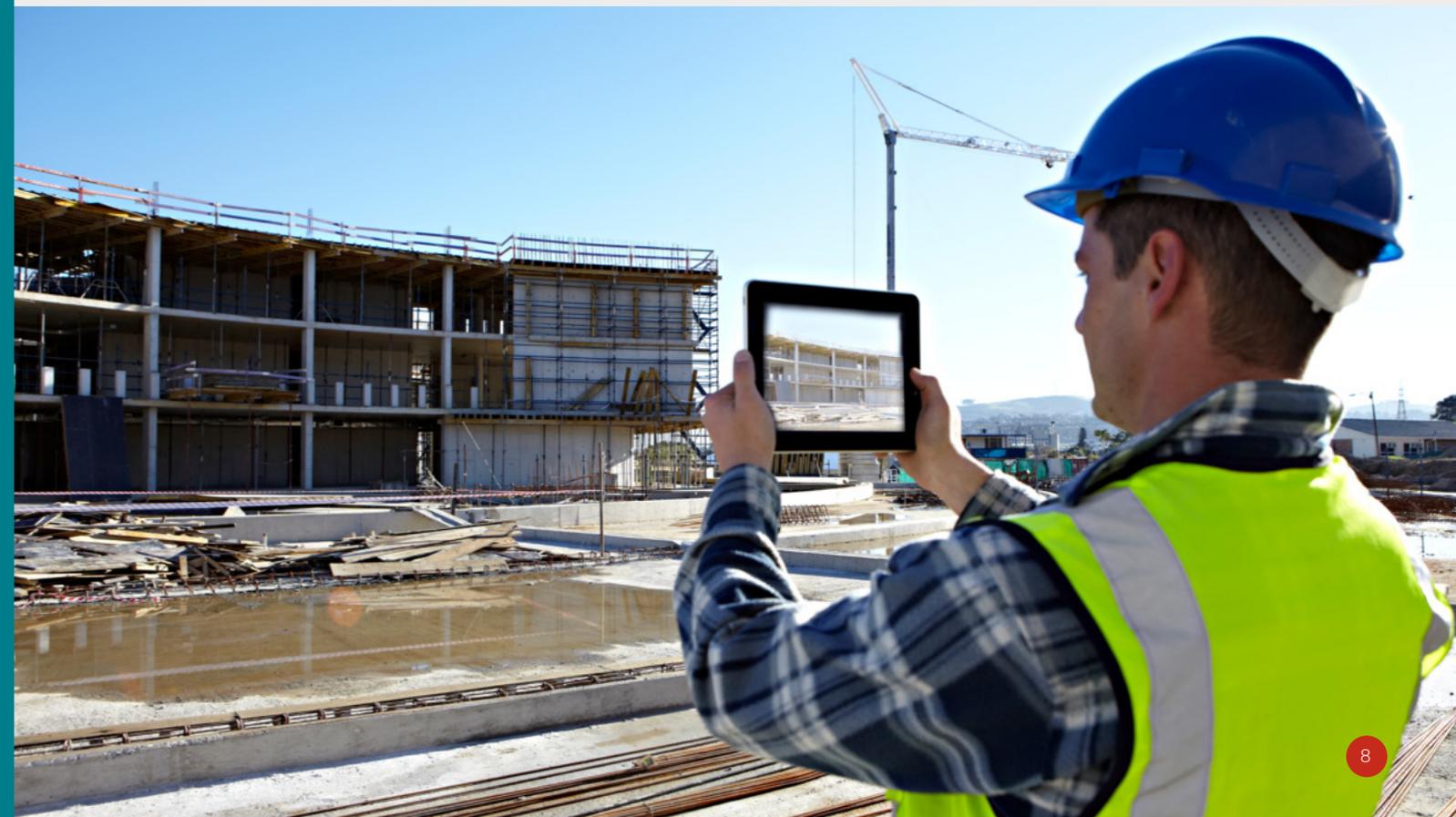
認証取得後

認証取得後は、年に一度のサーベイランス審査を実施し、最新の基準への適合性を確認致します。



組織のBIM 認証

- BIM 認証を取得することは、市場参入の機会を広げる「グローバルパスポート」です。
- BIM認証は、世界中の大小さまざまな組織で採用されています。インフラを管理する政府機関から、建築家、設計コンサルタント、元請・下請企業、資産管理組織まで。すべての企業がBSI Kitemark 認証を利用して、業界で認められたベストプラクティスを採用していることを証明しています。
- BSI Kitemark の認証は、設計から建設、ライフサイクルに至るまでの資産管理などモジュール化されており、組織が資産のライフサイクルの中で提供するサービスとBIMの提供に応じて実施されます。
- 既存のシステム認証との整合性を図り、理解しやすい共通言語を採用しています。



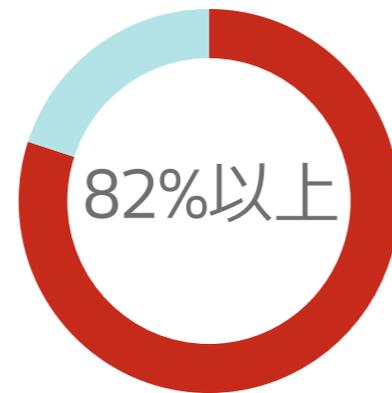
ビジネスに役立つBIM研修

BIM研修は、BIMマネージャー、プロジェクトマネージャー、導入チームなど、BIMに関する知識を深めたい方におすすめです。

ご検討頂く事項

- あなたのチームやサプライヤーにとっての、適切なBIMの知識レベル
- 組織の一部の人が保有するBIMの知識を組織全体へ普及する方法
- 組織のBIM認証取得に向けた取り組み

BIM研修の詳細：<https://www.bsigroup.com/ja-JP/our-services/training-courses/BIM-training-courses/>



アンケート回答者の82%以上が、BIMに関する研修の受講にメリットを感じると答えています。

組織におけるBIMに対する理解の程度には差があります。BIMを理解するには教育が重要です。





マネジメントシステム 及び各種研修

BSI は、これからも革新的であり、さまざまな産業分野の専門家を結集して、世界をより安全な場所にするための活動を行って参ります。BSI は国際基準の策定を支援するノウハウを活かし、お客様のビジネスをより安全に、よりレジリエントに、成功へと導くためのマネジメントシステムを導入することを実現するトレーニングを提供する唯一無二の組織です。

BSI では、BIM資格やBIM研修を提供するだけでなく、建設や建築環境に携わる企業の多くがビジネスの改善に活用している、トレーニングソリューションを多数用意しています。組織のあらゆるレベルのスタッフのトレーニングニーズに応じた研修を提供することで、組織が継続的改善に向けて注力できるように支援します。

品質マネジメントシステム

- ISO 9001

品質の高い製品やサービスを提供することは、組織の存続と長期的な発展のために、これまで以上に重要になっています。

国際的に認められた品質マネジメントシステム（QMS）を持つことで、組織のパフォーマンスを高め、顧客満足度を向上させ、組織の競争力を高めることができます。

- 要求事項研修
- 内部監査員研修
- 審査員研修

環境マネジメントシステム

- ISO 14001

環境マネジメントは、もはや道徳的な選択ではなく、ビジネス上の必要条件となっています。持続可能なモデルの利点を認識している組織は、環境の変化を捉えてビジネスを成功へ導く方向転換ができる最良の立場にあります。ISO 14001:2015 環境マネジメントシステムは、持続可能な成長を促進し、イノベーションを刺激し、新しい市場への参入を可能にします。

- 要求事項研修
- 内部監査員研修
- 審査員研修

その他の研修

労働安全衛生マネジメントシステム - ISO 45001

世界初の労働安全衛生の国際規格であるISO 45001:2018は、世界中で従業員の安全性を向上させ、職場のリスクを低減し、より安全な労働環境を実現するためのフレームワークを提供しています。

- 要求事項研修
- 内部監査員研修

情報セキュリティマネジメントシステム - ISO/IEC 27001

情報セキュリティの管理方法をこの分野の専門家であるBSI講師より学ぶことができます。ISO/IEC 27001:2013は、情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を構築し、実施し、継続的に改善するための要求事項を定めた現行の国際規格です。1990年代初頭に制定されて以来、世界の情報セキュリティ規格はその厳格さと認知度を高めてきました。それに伴い、情報セキュリティの脅威とその管理方法も変化してきました。この規格は、情報セキュリティ管理に関する現在のベスト・プラクティスを反映しています。ISMSを構築し、そのパフォーマンスを監視し、必要に応じて改善を行うための具体的な推奨事項が記載されています。また、組織の情報セキュリティマネジメントシステムの外部評価および認証を可能にしています。

- 要求事項研修
- 導入実践責任者研修
- 内部監査員研修
- 審査員研修

事業継続マネジメントシステム – ISO 22301

事業継続マネジメントシステムを組織内に構築し、災害時の役割と責任を明確にする方法を学びます。ISO 22301のマネジメントシステムを導入することで、ダウンタイムを最小限に抑え、復旧時間を短縮し、お客様に安心していただくことができます。

- 要求事項研修
- 内部監査員研修
- 審査員研修

エネルギーマネジメントシステム - ISO 50001

ISO 50001の認証を取得する当初の目的が、組織のコスト削減、法規制遵守または持続可能性の向上のいずれに該当する場合でも、規格の導入は最終的にそれらすべてを体系的なアプローチで実現します。当社のトレーニングコースは、ISO 50001に基づくエネルギーマネジメントシステムを理解し、自信を持って導入できるように設計されています。トレーニングを受講することで、組織はよくある間違いを避けながら、より大きなコスト削減を達成することができます。

- 要求事項研修
- 内部監査員研修

ご要望に応じた研修

教育は一度きりではなく、継続して行われることで知識の構築と実践的な導入に繋がります。BSI では、段階的な教育の提供を行うことで、組織の教育を支援致します。

組織における日常的なトレーニングの提供から、継続的なスキルアップやサポートまで、ビジネスを幅広く支援するトレーニングプログラムを提供します。お客様のご要望に応じて、受講者のロケーションを問わず提供できる、"ライブ"オンライン研修によるトレーニングもお届け可能です。

柔軟に対応できるオンライン研修

- 勤務地やお住まいの地域を問わず組織内の人材を育成することが可能です。
- "ライブ"オンライン研修では、講師と関わり、適切なサポートを受けながら学習を進めることができるため、ベストプラクティスを組織内に定着させ、あらゆる課題に対応できるようにすることができます。
- 世界のどこにいても、希望する言語と時間帯に専門知識を習得することができます。
- 通学が必要のないオンライン研修は、日常的な教育をより持続可能なものにしてくれます。
- 各種研修には、他の組織の代表者と一緒に参加することができ、そこでネットワークを築き、経験を共有して学ぶことができます。
- 企業内研修として、BSI のエキスパートである講師が貴組織専用の研修を提供することもできます。
- BSI が提供するインタラクティブな研修は、演習、ディスカッション、チームワークなどを用いて、全員がスキル、知識及び学習成果が最大限得られるように設計されています。

規格書

規格に基づき実施する研修では、研修期間中、規格の参考資料を提供します。受講前に規格の内容を十分に理解しておくことをお勧めします。また、完全な規格を参照したい場合は、ご自分の規格書を別途用意されることが推奨されます。

前提条件

研修の中には、特定の前提条件があるものもあります。多くの研修では、規格に関して一定の知識が必要とされます。参加する研修の内容を最大限に活用頂けるように、研修の前提条件をご確認いただき、必要な事前学習などを実施頂くことをお勧めします。

研修受講に関する前提条件について、ご不明な点は、当社の営業担当または研修アドバイザーにご相談ください。

BSI – あなたのビジネスパートナー

世界195カ国で事業を展開する当社は、社員の専門知識、誠実さ、プロ意識を誇りとしています。私たちは、「making excellence a habit」を支援し、お客様に選ばれるビジネスパートナーになることを目指しています。

私たちは、規格、資格、研修、認証、諮問、サプライチェーンソリューションを提供し、ビジネスパフォーマンスを向上させる多様なポートフォリオを提供しています。BSI のソリューションは、組織がパフォーマンスを向上させ、品質とリスクを管理し、ブランドを保護し、組織のレジリエンスの基盤を作るのに役立ちます。

皆様とのパートナーシップの機会を期待しております。